

千葉大学病院で婦人科腫瘍疾患の治療・管理を受けた
患者の皆様、ご家族の皆様へ

2025年11月10日

産科・婦人科

産科・婦人科では、「プラチナ感受性再発卵巣明細胞がんに対するパクリタキセル・カルボプラチン＋ベバシズマブ療法の安全性と有効性」に関する研究を行っております。今後の治療に役立てることを目的に、この研究では、プラチナ感受性再発卵巣明細胞がんに対するパクリタキセル・カルボプラチン＋ベバシズマブ療法を受けた方の診療情報などを利用させていただきます。以下に示す方の診療情報などを、本文書の公開日以降に利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に診療情報等を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

2013年1月1日～2024年12月31日までに当科にてプラチナ感受性再発卵巣明細胞がんに対するパクリタキセル・カルボプラチン＋ベバシズマブ療法を受けた方

1. 研究課題名

プラチナ感受性再発卵巣明細胞がんに対する paclitaxel carboplatin + bevacizumab 療法の安全性と有効性の後方視的検討

※paclitaxel carboplatin + bevacizumab 療法（パクリタキセル・カルボプラチン＋ベバシズマブ療法）

2. 研究期間

2025年承認日～2027年3月31日

この研究は、千葉大学医学部附属病院観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

プラチナ感受性再発卵巣明細胞がんと診断され、パクリタキセル・カルボプラチン＋ベバシズマブ療法を受けた方の背景情報（年齢、性別等）、副作用、5年無増悪生存期間、5年生存率を明らかにすることで今後の治療戦略について考察し、今後のより良い診断

と治療の開発に関する研究を行います。利用する情報は患者さんの診療録から2013年1月1日～2025年10月31日までの診療情報を収集し解析を行います。研究成果は、学会・論文等で発表します。

4. 研究に用いる情報の種類

診療録に記載されている診療情報、血液検査、画像検査、治療法、治療効果等について調べます。

5. 研究組織

研究機関：千葉大学医学部附属病院

研究責任者：産科・婦人科 准教授 楯真一

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、厳重に管理します。データ等は、千葉大学医学部産婦人科教室で厳重に保管します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

7. 研究についての相談窓口について

研究に情報等を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はございません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等がございましたら、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口：〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院（病院長：大鳥 精司）

産科・婦人科 准教授 楯 真一

043(222)7171 内線 5312